



# 「矯正っていつ始めるの??」 美しい永久歯は美しい乳歯から!

幼児の時から行う矯正治療は予防矯正、歯列育成などと呼ばれ、歯並びをきれいに守り育てる予防の治療。いろいろな器具を口の中に装着することにより、症状に合わせて顎の骨の成長を促進したり抑制したりします。歯と顎の成長をうまくコントロールしながら、歯並びを自然で理想的な位置まで誘導していくのです。永久歯が生えてくる空間や環境が十分に準備でき、将来健康な歯を抜かなくても、きれいに歯が並び可能性が飛躍的に高まります。一度、矯正歯科またはかかりつけの歯科医師とよく相談ください。



理想的な位置に歯が動いてきました。



プレートと呼ばれる床矯正装置で1期治療を開始しました。



乳歯が生えているのに永久歯が変なところから生えてきました。

**A**

日本や米国の矯正歯科学会では遅くとも7才までに矯正専門医に相談することを勧めています。受け口(反対咬合)では初期治療として3才頃から使える治療器具(ムーシールド)もあります。他の歯並びの問題では7才までを目処にお母様が「何か変かな」と思った時に受診すると良いでしょう。

**Q**



山口芳照 歯科医師  
Yoshiteru Yamaguchi

浜松市中区佐藤町「やまぐち歯科矯正歯科医院」院長。インプラント、審美歯科、床矯正、ホワイトニングを得意とする。「自分がクライアント(患者)だったなら“受けたい”と思う歯科治療を提供する」が信条。

## 3歳児からの予防歯科

# 大好きなチョコレートでむし歯を予防!?

取材/やまぐち歯科矯正歯科医院 ☎053-461-2906

**チョコなのにむし歯を防ぐ理由(ワケ)**  
キシリトールは、お口の中の菌で発酵することがないので酸を作りません。「キシリトール入りのガム」でむし歯を予防できることは、皆さんご存知ですか? 園医者が作ったチョコレートは、むし歯の原因である砂糖を使わず、歯を強くする「キシリトール100%」で甘味を出しています。正しく食べれば、おいしく摂取でき、むし歯予防に効果的だと言えるでしょう。※キシリトールチョコレートの食べ方として、大人は1日3回、1回に1粒から3粒程度。幼児は1日1回、1粒程度が目安です。歯磨き後、寝る前に摂取すると効果的で、ゆっくりなめながら食べてください。注意点は、さすがに歯磨きを全然しないと、むし歯にはなってしまいます。また、予防効果の確認には歯科医院での



園医者を好きになってもらいたいチョコレート



キシリトールチョコは20粒入り

キシリトールってどんなモノ? 甘くても歯を強くする天然素材!

**チ** ヨコをなめて虫歯を予防!? そんな不思議なチョコレートが、園医者のアイデアで誕生しました。それは砂糖を使わず、むし歯予防法のなかでも特にその有効性が注目される「キシリトール」を使ったチョコレート。キシリトールチョコレートで、むし歯予防ってホントにできるの? 山口先生にお聞きします。



やまぐち先生が答えます!  
歯に関する悩み・質問にママミーヤ誌面上でお答えします!  
※質問すべてに回答するものではありませんのでご了承ください。尚、これにより得た個人情報については他に開示しないものとします。質問はメールにて受け付け! ■アドレス/dental@c-shopper.co.jp